

令和4年度第2回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

【日時】 令和4年10月11日（火） 13時00分～14時25分

【場所】 加古川市役所北館（旧青少年女性センター）4階大会議室

【出席委員】 松田会長、下村副会長、稲田委員、今井委員、江指委員、北野委員、千堂委員、千徳委員、高瀬委員、高橋委員、三柴委員、宮井委員（12名）

【会議次第】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - （1）第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
 - ① 教育・保育の見直しについて
 - ② 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて
- 3 その他
- 4 閉会

【配付資料】

資料1：令和4年度第2回加古川市子ども・子育て会議 座席図

資料2：教育・保育における見直しの概要

資料3：就学前児童数について

資料4：教育（1号認定）に関する見直し後の量の見込み（案）の算出について

資料5：見直し前後における量の見込みと確保方策の比較（教育）

資料6：保育（3号認定・0歳児）に関する見直し後の量の見込み（案）の算出について

資料7：保育（3号認定・0歳児）に関する提供体制を見直し不要とする理由について

資料8：保育における量の見込み及び提供体制

資料9：見直し前後における量の見込みと確保方策の比較（保育）

資料10：地域子ども・子育て支援事業中間年の見直し（案）

資料11：《参考》加古川市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直し（素案）

資料12：パブリックコメントの概要

（参考）

- ・事務局出席者名簿
- ・事前質問一覧等
- ・加古川市立西神吉幼稚園の廃止について及び参考資料

議事要旨

1 開 会	
2 報告事項	<p>(1) 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>① 教育・保育の見直しについて、資料2から資料9により説明</p> <p>委員 事前質問で、提供体制は今後の実績に応じて修正する旨が記載されているが、後追いで修正するのではなく、明確な方針を示し、最初から提供体制の見直しを明記できないのか。</p> <p>事務局 量の見込みが減少していることはわかっているため、今回の見直しで確保する定員数を予め設定できないのかという質問だと思うが、今回の見直し段階で明確な数値がわからないため、各年度で確保する定員数は0で設定している。次期の計画策定の段階では明確な数値をお示しできると考えている。</p> <p>会長 3号認定0歳児の提供体制の見直しは不要とのことであり、理由として特定の保育施設への入所を希望する方が一定割合いるとのことだが、こういった方々に市から他の保育施設を案内することはあるのか。</p> <p>事務局 4月当初の入園調整において、ある一定の点数があり、特定の保育施設を希望する方へは、そのような案内を個別に行っている。</p>
	<p>(1) 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>② 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて、資料10により説明</p> <p>委員 資料10の23ページ「養育支援訪問事業」は、実績値77人/年に対して確保方策78人/年であるため、見直し不要となっている。今後、児童虐待等が増え提供体制が不足した場合に備え、弾力性は常に確保されているのか。</p> <p>事務局 養育支援訪問事業では、児童虐待を未然に防ぐため、家庭支援課の保健師4名がリスクの高い家庭を訪問している。もし提供体制が不足した場合は、同じ部内の育児保健課の保健師の協力を得ることで、ある程度の量に対応できると考えている。</p> <p>委員 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）について、資料10の19ページ「志方東小学校」の見直し後の量の見込みが12人に対し、定員が39人である。見直し後もかい離が大きいですが、定員39人をキープし続けるのか、それとも実績に応じて下方修正するのか。</p> <p>事務局 志方東小学校の場合、下方修正は行わない。実際の利用率などを考慮して定員数を受入可能人数とすることはあるかもしれないが、量の見込みが定員を下回る場</p>

	合、下方修正は行わない。
委員	(1) 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて パブリックコメントの実施概要について、資料 11 から資料 12 により説明 パブリックコメントに対する市の回答を公表すると思うが、計画改訂前に子ども・子育て会議でも報告いただけるのか。
事務局	報告予定である。
3 その他	
委員	この場で聞いていいのかわからないが、小学校で使うタブレットを使って、図書館の本を借用・閲覧できるのかお伺いしたい。
事務局	タブレット関係は教育研究所や学校教育課の所管であるが、図書館との連携まで至っていない状況だと聞いている。授業以外にどのようにタブレットを活用していくかは教育委員会で考えていくべきだと考えている。今回のご意見は、担当課へ伝えておく。
委員	みとろフルーツパーク再整備に関する事前質問への回答を受けて、こども政策課として何か具体的な関わりがあるかをお伺いしたい。 また、地域の声を集めて農林水産課を訪問した際、観光だけでは収益が見込めないため、学びの点を取り入れて計画を進めたいという話があった。だが、農林水産課として学びの専門家が介入するという事は特に考えていないとのことだった。子どもたちにとってより有意義な施設にするため、そのような考えはないかお伺いしたい。
事務局	みとろフルーツパーク再整備に関し、今まではこども政策課として何か意見を出すことはなかったが、市民の方から聞いた意見等があれば農林水産課へ伝えていきたい。 また、学びの点に関するご意見についても、農林水産課へ伝えておく。
委員	東洋経済 ONLINE で市の ICT 化が紹介された件で、デンディムで紹介されていると事前質問へ回答いただいたが、実際デンディムを見ている市民は少ないと思う。保育士確保のチラシに補助金だけでなく働き方改革にも注力していると書くなど、頑張っていることや成功事例をもっと PR すべきである。
事務局	東洋経済 ONLINE においても紹介されているが、令和 2 年度に公立園で午睡チェックセンサーの実証実験を行った後、市の補助金制度を設け法人園での普及を促進

	<p>したり、法人園で導入が進んでいた登降園管理システムを公立園でも導入したりしている。今後も、公立園での有効な取り組みがあれば法人園へ展開するとともに、加古川市全体で ICT 化を通じて保育士の働き方や保護者への支援をしていきたい。また、その際は PR もしっかり行っていきたい。</p>
事務局	<p>ここで当日資料にあるとおり、加古川市立西神吉幼稚園の廃止について説明させていただく（「加古川市立西神吉幼稚園の廃止について」及び「参考資料」により説明）。</p>
委員	<p>西神吉幼稚園は定員 15 人に対し 10 人利用だが、しかたこども園（1号認定）は定員 25 人に対し 10 人利用とある。なぜ西神吉幼稚園だけ廃止となるのか。</p>
事務局	<p>「加古川市立幼稚園の今後のあり方について」において、望ましい集団規模を 20 人以上と定めている。西神吉幼稚園は 4 歳児・5 歳児ともに 5 名となっており、望ましい集団規模をかなり下回る状況である。一方、認定こども園であるしかたこども園については、1号認定児は少数だが、同園の 2号認定児と一緒に活動できるため、結果的に大きい集団規模となる。</p>
事務局	<p>加えて、認定こども園の特徴として、就労の有無にかかわらず同じ園に継続して通園できることが最大のメリットである。認定こども園で確保している 1号認定定員については幼稚園とは考え方が異なるため、しかたこども園は現在の定員で維持していくことが望ましいと考える。</p>
副会長	<p>子育てプラザを利用する保護者の中でも、公立幼稚園の方向性に関心が高く、認定こども園化を望む方が多いと感じる。前の会議でも公立幼稚園の方向性を検討するという話があったが、保護者が子どもの預け先を検討する判断材料になるため、なるべく早くお知らせする方がよいと思う。</p>
事務局	<p>確かに、公立幼稚園が認定こども園化すれば、しかたこども園のように 1号認定児と 2号認定児と一緒に活動できる。また、幼稚園・保育園の機能をあわせ持っており、就労の有無にかかわらず同じ園に行けるので、保護者にとっても大きなメリットだと思う。</p> <p>ただ、認定こども園化に伴う施設整備に伴う改修工事や用地確保で多大な費用が必要となる。仮に残りの 16 園すべてを認定こども園化するとすると、将来的なニーズという面でそれほどの費用をかけるべきかということもある。</p> <p>公立幼稚園だけでなく民間園の状況を見つつ、こども部とも協力して検討を進めていきたい。また、保護者へのお知らせについて、私どもも早期にお知らせすべきと考えており、子ども・子育て会議などでも報告していきたい。</p>
委員	<p>私が運営する私立幼稚園では、今までいただいていた就園奨励費も以前に比べる</p>

	<p>と大きく減少し、園児も公立同様、減少傾向にある。そんな中で子どもたちにより良い教育・保育を提供するため、努力しながら運営しているのは教育・保育施設の形態問わずどの民間も同じであろう。</p> <p>市内で働く保護者や、質の高い教育・保育を望む保護者のためにも、量の見込みばかりを見るのではなく、公立園での成功事例を民間園にもっと還元していただきたいし、加古川市の教育・保育を進める施設を市からもっと支えて欲しい。</p> <p>事務局 おっしゃられた内容は、市としても大きな課題だと考えている。公立に限らず民間園も様々な取り組みをしていると思うが、それぞれの取り組みを情報共有するなど、市全体の教育・保育の質を高める取り組みが必要だと思う。また、ご意見をいただきながら、市としてどんなことができるか考えていきたい。</p> <p>委員 私は専業主婦で2歳の子どもがいるが、子どもを保育園に入れて社会復帰したいという気持ちが大いし、同じようなお母さんも多いと感じる。以前市役所へ「来年4月の2歳児クラスでいいから空きがないか」と相談したところ、「2歳児クラスは難しい」と言われ申込書類も出してくれなかった。認可外でもいいから積極的に案内してほしい。</p> <p>事務局 窓口での案内について、この場を借りてお詫び申し上げる。窓口では市で手続きできる部分を重点的に説明しがちになるが、市内の認可外保育施設一覧も用意している。より様々な選択肢を案内できるよう、今後の窓口業務に努めてまいりたい。</p> <p>委員 子どもが小さい時、市のホームページがわかりづらくて保育園探しに苦労した。お母さんたちは主にネットで情報収集すると思うので、保育園情報が一目でわかるサイトやQRコードなどで手軽に情報取得できるといいと思う。</p> <p>事務局 10月3日から来年4月の入所申込書類の配布がスタートしたが、保育施設利用のしおりの冊子を市のホームページに公表したり、市民センターや園へ配布したりしているところである。</p> <p>また、今年度は施設利用のしおりの冊子の最後のページに「ここ de サーチ（全国の教育・保育施設を集約した厚生労働省のサイト）」のQRコードを掲載しており、認可外保育施設も含めて検索可能となっている。</p> <p>よりわかりやすく情報をお伝えできるように、今後も努めてまいりたい。</p>
4 閉 会	